

21

SAT

入選者会場批評会(絵画部・版画部)

4月21日(土) 13:00~15:00 参加無料 —— 当日各階会場にて受け付けます。

授賞式・パーティー

4月21日(土) 15:30~17:20 国立新美術館3F講堂 参加無料 ※18:00~20:00 親睦会を別会場にて開催します。

Reception

Lecture

講演会

第100回記念春陽展にむけて「初期春陽会と文人画のこと」

原田 光 氏(元岩手県立美術館館長)

4月22日(日) 開場13:30 開演14:00~15:30
国立新美術館 3F講堂・入場無料

原田 光 Hikaru Harada

1946年 愛知県に生まれる。
1971年 美術出版社に入社、『みづゑ』編集。
1981年 神奈川県立近代美術館に勤務。
2003年 横須賀市美術館準備室に勤務。
2009年 岩手県立美術館に勤務。
2016年 退職。
執筆 『鳥海青児 絵を耕す』(せりか書房、2015)、
『没後90年 萬鉄五郎展』(岩手県立美術館他、2017) など



22

SUN

28

SAT

春陽展アートツアー

4月28日(土) 13:00~14:00 2F会場入口集合
参加無料、オリジナルグッズ プレゼント

Art Tour

一般の方を対象にした、絵画・版画鑑賞ツアー。
春陽会会員の解説を受けながら
アートの新たな楽しみ方を発見していただきます。

Gallery Concert

チャリティーイベント

絵と音楽のコラボで楽しむギャラリー・コンサート 手風琴と口風琴の演奏会

4月29日(日) 14:00~15:00 2F展示会場内(第2室)

アコーディオン 熊坂 路得子 Rutsuko Kumasaka

6歳よりピアノを始め、師の演奏に魅せられ、18歳でアコーディオンと出会った。女子美術大学短期大学部在学中、学校行事や個展等で演奏を始める。現在ではソロ演奏から、ジャンルを超えて様々なミュージシャン達とのセッションを展開。精力的に演奏活動を続けている。2009年、2014年の二度に渡り、自身の参加するユニットでのアルバムを全国リリース。映画『花芯』(原作『花芯』瀬戸内寂聴著(講談社文庫刊) 監督・安藤尋)にて、そして、17・8女優大竹しのぶ主演ミュージカル[にんじん]にて、劇中アコーディオン演奏で参加。アコーディオンをMiyatck渡辺氏に師事。 <http://rutsuko.main.jp/>



29

SUN



鍵盤ハーモニカ 宮原 裕子 Miyahara Yuko

桐朋学園大学音楽学部演奏学科卒業。オーボエ専攻。オーボエを鈴木清三、室内楽を北川利世、末吉保雄の各氏に師事。現在、鍵盤ハーモニカ奏者である松田昌氏の音に魅せられ師事。教育楽器の枠を超えた表現楽器としての演奏に取り組み、その活動を広げている。中でも、弦楽器・ピアノ(チェンバロ)・鍵盤ハーモニカによる他に類を見ない編成のアンサンブルでは、クラシック音楽をレパートリーを中心に据え、注目を集めている。また2015年9月、8弦ギターと鍵盤ハーモニカによるデュオアルバム「Air」をNPO法人すぽとらいとより、リリース。他、教育機関へのアウトリーチやワークショップなども展開している。 <http://sanapalpa.hatenablog.com/>



春陽会 SHUNYO-KAI ART SOCIETY INC.

春陽会は1922(大正11)年、小杉未醒、足立源一郎、倉田白羊、長谷川昇、森田恒友、山本鼎、梅原龍三郎、さらに客員として石井鶴三、今關啓司、岸田劉生、木村荘八、中川一政、萬鉄五郎等が参加して15名で創立されました。翌1923(大正12)年に第1回展が開催され、今年第95回展を迎えました。その間、三岸好太郎、岡本一平、小山敬三、岡鹿之助、三雲祥之助、高田力蔵等、また版画部には長谷川潔、駒井哲郎など、日本美術史に名を刻む多くの画家たちが参加しています。

左写真：春陽会発会当日(1922年1月14日)

第95回

春陽展

入場割引券

会場入口にて下記入場料から200円割引致します

■一般当日券 700円 ※学生・70歳以上 無料
※障がい者の方と付き添いの方1名 無料